



みずのうえ 堺市議会議員
水ノ上 なるあき
 公認会計士・税理士、剣道教士7段

- 昭和38年5月 堺市生まれ ●三国丘小学校、三国丘中学校、清風南海高校
- 中央大学経済学部卒業、公認会計士・税理士登録 ●監査法人トーマツで公認会計士監査に従事
- 平成10年堺市で水ノ上公認会計士税理士事務所開業 ●令和4年税理士法人水ノ上会計に移行。代表社員就任現在に至る。
- 平成15年4月堺市議会議員初当選。以後6回連続当選。第80代堺市議会議長。
- 令和6年2月日本保守党所属議員となる ●剣道・教士7段。現役。少年剣道の指導に当たる。

1 水ノ上が個人市民税減税を迫るも永藤市長は拒否



◎令和6年12月5日 大綱質疑

名古屋市では河村市長時代平成24年度から12年間個人市民税減税を実施。地方自治体としては日本で唯一だ。



減税の内容は5%の所得割減税、均等割りは3000円から2800円に200円を減税している。

その結果、年間100億円の減税を実現。つまり名古屋市民の使えるお金を100億円増やした。

名古屋市長は昨年11月に河村氏から日本保守党の広沢新市長へ変わったが減税は継続している。

昨年9月に広沢新名古屋市長が堺に来られ共に仁徳天皇陵を参拝した。

広沢新名古屋市長は仁徳天皇の啓示を受けたのだろう。11月の名古屋市長選で減税割合5%を10%に拡大する方針を公約として当選された。

堺が名古屋方式で減税を実施した場合、減税額は約25億円となる。

水ノ上は本会議において永藤市長に市民税減税を強く迫るも検討すらしやうとしない。

市民税の減税は市長の決断一つで実施可能だ。仁徳天皇の「民のかまど」の故事に習い堺市長こそ全国の自治体に先駆けて市民税減税を打ち出すべきである。

2 西区地震津波対策

◎令和6年6月6日の市民人権委員会

南海トラフ大地震の発生確率は今後30年で80%と発生確率がアップした。

堺市には堺区で最大4.2m、西区で最大4.8mの津波が押し寄せる可能性がある。



南海トラフ地震による死者の予想は6100人で、そのうち津波による死者は約6030人と想定されており、死者のほとんどが地震発生後逃げ遅れ津波による死者である。

津波到達は約100分で、100分内に逃げられない高齢者や要支援者が犠牲になる。

犠牲者の想定は堺区で約3600人、西区で約2400人。浜寺校区、浜寺昭和校区、浜寺石津校区で2400人の逃げ遅れによる死者が想定される。

●犠牲者を減らす為の水ノ上の提案。

- ①逃げ遅れる可能性のある方の名簿を作成し、常時アップデートする。
- ②誰が誰の救助に向かうのか選定しておく。地震がいつ起こるかかわからないため、最低3人の選定が必要。
- ③誰をどこに避難させるのかあらかじめ決めておく。
- ④逃げ遅れると想定される方を安全な避難所まで運び出す具体的な津波避難訓練を実施する。

堺市において南海トラフ大地震津波による死者ゼロにする取り組みが必要だ。

3 国歌「君が代」の小学校指導状況

◎学習指導要領 小学校 音楽

国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるように指導すること。

◎学習指導要領解説 小学校 音楽

「児童が、将来国際社会において尊敬され、信頼される日本人として成長するためには、国歌を尊重する態度を養うようにすることが大切である」。



つまり学習指導要領では1年生から6年生まで毎年音楽の時間に国歌「君が代」を歌えるように指導することになっている。

しかし、ほとんどの小学校では1年生から5年生まで日本の国歌を全く教えずに、6年生が卒業式に歌えるようにするために卒業式の直前に教えているのが実態。学校現場では明らかに学習指導要領に反する教育が行われている。

私はすべての小学校で実態を調査するように何度も要望しているが教育委員会は全く取り合わず調査しようとはしない。

近くの小学校児童に聞いてほしい。学校で国歌「君が代」を習ったかと。

昨年行われた全国学力状況調査によると、堺市の小中学生の学力の低下が著しく、小中学生共に政令指定都市最下位クラスだ。学習指導要領に基づかない教育が行われていることがその一因だろう。

すべてにおいて学習指導要領通りの指導をすべきだ。

4 戦没者・戦災物故者追悼式典を堺市単独で開催するよう、強く要望!

◎令和6年8月28日の大綱質疑

令和7年、2025年は大東亜戦争終戦80年。日本全国各地で80周年の記念式典が開催される。大東亜戦争による死者は軍人・軍属約230万人 民間人約80万人。堺市の軍人・軍属の死者は約6500人、堺空襲などによる戦災物故者は約1900人にのぼる。

堺市は昭和39年から令和元年まで55年間堺市単独で「堺市戦没者・戦災物故者追悼記念式典」を開催してきた。しかし、令和4年から大阪府、大阪市と共同で「大阪戦没者追悼式」を大阪市内の大阪国際交流センター(天王寺区)で開催している。



なぜ堺市民の戦没者・戦災物故者の追悼を堺市単独で堺市内で開催しないのか?大阪維新の会の首長同士だから安易に決定したのではないのか?質問するも明確な答弁はなかった。

大東亜戦争時、堺から出征し戦地で戦い約6500人の方が命を落とした。また昭和20年の米軍のB29による民間人の殺戮を目的とした無差別爆撃により約1900人の堺市民が殺された。このような堺市民を追悼するのは堺でしかない。大阪市内に行って追悼する理由は全くない。堺市民の戦没者の追悼式典を堺でやらずに大阪市内で行うことは死者への冒瀆だ。

私は永藤市長に堺市単独での追悼式の開催を強く求めたが、考えを改める気はなく、戦後80年の節目の今年も共同で追悼式の開催を行うという。死者の思いを大切にせず、良い市政ができるはずがない!

5 万博大屋根リングの仁徳天皇陵隣接地への移設を提案

4月13日から大阪関西万博が始まる。万博開催中世界最大の陵墓である仁徳天皇陵を世界に発信していく絶好のチャンス。この機会に仁徳天皇を中心とする日本国家創成期の歴史を世界に発信し、理解を促し、そのうえで堺に来ていただき仁徳天皇陵の威容に触れていただきたいと思う。

とはいえ、仁徳天皇陵に来られた観光客は期待外れ感が強いのも事実。その理由は、1.全体像が見えない、2.陵墓内は立ち入り禁止、3.空撮写真とのギャップがある等

気球を飛ばして見る計画もあるが、まだ時期が決まっていない。たとえ飛ばせたとしても雨の日や風の強い日は飛ばすことができず、観光客の期待に沿えない。

万博は10月に閉会する。万博の一つの売りは、世界最大の木造建築である「大屋根リング」(写真)だ。閉会後大屋根リングは解体されるが、その再活用の募集をしているが応募は少ないと聞いている。



大屋根リングの一部を仁徳天皇陵隣接地の大阪女子大跡地に移設するよう提案している。大阪女子大跡地には堺ミュージアムを建設する構想もある。

仁徳天皇陵に隣接する大阪女子大跡地は堺市が購入した。そこに万博で世界的に注目された木造のリングの一部を移設すれば高さ20mであり全天候型の観覧施設として陵線を見渡すことができる。大きな話題にもなる。

移設設置費用も一から建設するよりも大幅に安くつく。私はグッドアイデアと考え議会で永藤市長に提案したが興味を示さない。皆さんはどう思われますか?

◎阪堺線軌道移設事業



南海本線連続立体事業に合わせて阪堺線(チンチン電車)が常盤浜寺線から以南の路線が東側に移設され、連続立体工事終了後は、浜寺公園駅で南海本線と阪堺線の相互乗り入れをする事となり乗換えの利便性が高まります。

◎浜寺公園駅、諏訪ノ森駅前開発。

共に100年の歴史を誇る浜寺公園駅、諏訪ノ森駅は駅舎としての任務を終え、それぞれ地域の憩いの場として活用されています。南海本線高架後にはそれぞれ駅前を飾る町のシンボルとして再活用が計画されています。

